

# 本 会 会 報

## 学会だより

### ◇ 会員の荣誉

門田有希会員が「第13回三島海雲学術賞」を受賞

本会会員の門田有希氏（岡山大学学術研究院）は「食の安心・安全に貢献する作物の品種識別技術の開発」に関する功績により、2024年度「第13回三島海雲学術賞」を授与されました。

三島海雲学術賞は、自然科学及び人文科学の研究領域において、創造性に富み、とりわけ優れた研究能力を有する若手研究者（45歳未満）を顕彰し、その研究の発展を支援することを目的としています。2012年（平成24年）の財団設立50周年を機に創設されました。

### ◇ 令和6年度第2回運営委員会議事録

日時：2024年5月18日（土）13:00～17:25

場所：東京大学農学部1号館4番講義室およびZoom会議

出席者：中園幹生，福岡浩之，岩田洋佳，高橋宏和，津田麻衣，津釜大侑，半田裕一，南川舞，古川一実，山本敏央，磯部祥子，石川亮，堀清純，白澤健太，加藤浩，小出陽平，山内卓樹【17名】

出席者（オンライン）：渡邊和男，山田哲也，阿部陽，山形悦透，掛田克行【5名】

欠席者：那須田周平【1名】

各運営委員からの活動経過報告の後、以下の事項について審議を行なった。

- ①旅費に関する申し合わせ事項の作成（総務）
- ②運営内規 M. および N. の改訂（科研費）
- ③会費のクレジットカード決済導入，会員登録システムへの登録（会計）
- ④第146回秋季大会（広島大学）における，NBRPの展示および大会中の試写室の廃止（集会）
- ⑤運営委員会や各種委員会における法人向け共通ストレージの利用（共通ストレージ検討WG）
- ⑥男女共同参画推進委員会」の名称変更（男女参画推進委員会）

### ◇ 令和6年度第3回運営委員会議事録

日時：2024年8月18日（日）13:00～17:00

場所：東京大学農学部1号館4番講義室およびZoom会議

出席者：中園幹生，福岡浩之，岩田洋佳，高橋宏和，南川舞，古川一実，山形悦透，堀清純，加藤浩，磯部祥

子，石川亮，小出陽平，山内卓樹【13名】

出席者（オンライン）：津田麻衣，渡邊和男，津釜大侑，半田裕一，山田哲也，阿部陽，那須田周平，山本敏央，掛田克行【9名】

欠席者：白澤健太【1名】

各運営委員からの活動経過報告の後、以下の事項について審議を行なった。

- ①シニア会員制度に関する内規改訂と，男女共同参画推進委員会名称変更に伴う内規改訂（総務）
- ②会費のクレジットカード決済導入と将来的な振込用紙の郵送での送付を廃止（会計）
- ③新編集委員が推薦（編集：英文誌）
- ④投稿規定における遺伝資源に関する記載内容変更，および共著者の貢献について Information for authors へ記載（LMO・ABS委員会）
- ⑤大会参加費と余剰金について（集会）

### ◇ 第18回代議員会議事録

日時：2024年9月16日（月）13:00～16:30

場所：Web会議システム（Zoom）による開催

（理事・運営委員・監事・各種委員）

出席：中園幹生，福岡浩之，岩田洋佳\*，高橋宏和，津田麻衣，津釜大侑，半田裕一，南川舞，山田哲也，阿部陽\*，古川一実\*，那須田周平\*，山本敏央\*，山形悦透\*，磯部祥子，石川亮\*，堀清純\*，白澤健太，掛田克行，加藤浩，小出陽平，山内卓樹【23名】

欠席：渡邊和男【1名】

（令和6・7年度代議員）

出席：山田哲也，小出陽平，加藤清明，高橋秀和，阿部陽\*，深井英吾，田中克典，堀清純\*，加賀秋人，吉岡洋輔，溝淵律子，江面浩，石井卓朗，久保山勉，平野久，大西孝幸，岩田洋佳\*，井澤毅，有村慎一，伊藤純一，堤伸浩，犬飼義明，古川一実\*，佐塚隆志，佐藤豊，富田因則，石川亮\*，築山拓司，那須田周平\*，横井修司，山本敏央\*，門田有希，杉田左江子，山形悦透\*，一谷勝之，谷中美貴子，渡邊啓史，奥本裕，川浦香奈子【39名】

委任状（議決権行使）：久保友彦，笹沼恒男，井川智子，村井耕二【4名】

\*上記の役員・委員と代議員を兼任

議長：代表理事（中園幹生）

議事録：総務担当運営委員（津田麻衣）

出席者数は代議員会の定足数（過半数）を満たしていた。

1. 報告事項

(ア) 運営委員会報告 (各運営委員)

総務：会員数，冊子発行部数，Web サイト更新・メールニュース配信，契約，シニア会費制度利用申請，共催・協賛・後援，旅費に関する申し合わせ事項，会開催予定

代表理事：会員数の推移

IT・HP：Web サイトのアクセス解析，固定ページの更新

科研費：研究成果公開促進費 (研究成果公開発表：シンポジウム，国際情報発信強化：BS 科研)，科学研究費助成事業における経理状況等の調査

会計：2024 年度中間決算，クレジットカード支払い開始について，地域活動費の口座について，会費のクレジットカード決済について

編集 (英文誌)：編集状況，特集号，企画総説，日本育種学会論文賞の審査，SNS による情報発信，BS の宣伝活動の強化，編集委員の退任

編集 (和文誌)：原稿受付状況，発行状況，J-Stage アクセス集計

集会：2024 年秋季大会，今後の大会開催予定，2024 年秋季大会の詳細

農学会：2024 年度日本農学会シンポジウム，2025 年度日本農学会シンポジウムテーマ，科研費の全体額増加に関する要望

記者発表：第 146 回講演会 記者発表開催予定日時・方法，記者発表対象課題，記者発表希望演題数

LMO・ABS：LMO 関連，ABS 関連，その他

地域 (北海道，東北，中部，近畿，中国・四国，九州・沖縄)：談話会の開催および開催予定

2. 審議事項

(ア) 通常決議議案：令和 6 年日本育種学会賞の選考について

学会賞等選考委員長より以下の 3 課題の日本育種学会賞候補の推薦理由について説明があった。

(1) 経塚淳子 (東北大学大学院生命科学研究科)「イネの発生と形態形成に関する研究」

(2) 草場信 (広島大学大学院統合生命科学研究科)「有用植物変異体の解析と育種への応用」

(3) 研機構・九州沖縄農業研究センター「べにはるか」育成グループ (代表者：甲斐由美)「多収で外観が優れ，しっとりとした食感を持つ高糖度サツマイモ品種「べにはるか」の育成」

投票の結果，代議員出席者の 3 分の 2 以上の賛成票を得て 3 件とも承認された。

(イ) 通常決議議案：令和 6 年日本育種学会奨励賞の選考について

学会賞等選考委員長より以下の 3 課題の日本育種学会奨励賞候補の推薦理由について説明があった。

(1) 津田勝利 (国立遺伝学研究所)「イネ科植物における茎形成機構の研究」

(2) 郭威 (東京大学大学院農学生命科学研究科)「野外試験圃場における高効率フェノタイピングと情報解析に関する研究」

(3) 山本英司 (農研機構作物研究部門)「全ゲノム解析に基づく作物の遺伝解析手法の高度化」

投票の結果，代議員出席者の 3 分の 2 以上の賛成票を得て 3 件とも承認された。

(ウ) 通常決議議案：第 21 回 (令和 5 年) 日本育種学会論文賞の選考について

学会賞等選考委員長より以下の 3 報の日本育種学会論文賞候補の推薦理由について説明があった。

(1) Elucidation of genetic variation and population structure of melon genetic resources in the NARO Genebank, and construction of the World Melon Core Collection  
掲載巻 (号)・頁：Breeding Science 73(3): 269–277

著者：Gentaro Shigita, Tran Phuong Dung, Mst. Naznin Pervin, Thanh-Thuy Duong, Odirich Nnennaya Imoh, Yuki Monden, Hidetaka Nishida, Katsunori Tanaka, Mitsuhiro Sugiyama, Yoichi Kawazu, Norihiko Tomooka, Kenji Kato

(2) Designing rice panicle architecture via developmental regulatory genes

掲載巻 (号)・頁：Breeding Science 73(1): 86–94

著者：Ayumi Agata, Motoyuki Ashikari, Yutaka Sato, Hidemi Kitano, Tokunori Hobo

(3) Development of 12 sets of chromosome segment substitution lines that enhance allele mining in Asian cultivated rice

掲載巻 (号)・頁：Breeding Science 73(3): 332–342

著者：Kazufumi Nagata, Yasunori Nonoue, Kazuki Matsubara, Ritsuko Mizobuchi, Nozomi Ono, Taeko Shibaya, Kaworu Ebana, Eri Ogiso-Tanaka, Takanari Tanabata, Kazuhiko Sugimoto, Fumio Taguchi-Shiobara, Jun-ichi Yonemaru, Yusaku Uga, Atsunori Fukuda, Tadamasu Ueda, Shin-ichi Yamamoto, Utako Yamanouchi, Toshiyuki Takai, Takashi Ikka, Katsuhiko Kondo, Tomoki Hoshino, Eiji Yamamoto, Shunsuke Adachi, Jian Sun, Noriyuki Kuya, Yuka Kitomi, Ken Iijima, Hideki Nagasaki, Ayahiko Shomura, Tatsumi Mizubayashi, Noriyuki Kitazawa, Kiyosumi Hori, Tsuyu Ando, Toshio Yamamoto, Shuichi Fukuoka, Masahiro Yano

投票の結果，代議員出席者の 3 分の 2 以上の賛成票を得て 3 件とも承認された。

(エ) 通常決議議案：名誉会員の推戴

堤伸浩氏，加藤鎌司氏，辻本壽氏の名誉会員推戴が提案された。

投票の結果，総代議員の 3 分の 2 以上の賛成票を得て承認された。

(オ) 通常決議議案：功労賞受賞者の推薦

申し送り事項の各項に該当する下記の候補者が推薦された。

第3項：佐々英徳氏

第4項：Luigi Guarino 氏

投票の結果、総代議員の3分の2以上の賛成票を得て承認された。

(カ) 通常決議議案：運営内規の変更（総務および科研費関連）

シニア会員制度の適用時期、男女共同参画推進委員会の名称について変更が提案され、審議の結果、承認された。また、科研費関連の内規 M および内規 N の改正について提案され、審議の結果、承認された。

審議の結果承認された。

(キ) 通常決議議案：新編集委員の推薦

新編集委員として小林麻子氏の推薦があり、審議の結果、承認された。

### 3. その他

(ア) 関連報告

#### ①シンポジウム委員会

第146回講演会において開催されるシンポジウムおよびワークショップの報告があった。また、75周年記念シンポジウムを企画予定であることが報告された。

#### ②男女共同参画推進委員会

第146回講演会において開催されるランチタイムセミナーの報告があった。

#### ③日本学術会議育種分科会委員

第144回講演会において開催されるランチタイムセミナーの報告があった。

#### ④公益財団法人農学会農学教育推進委員会委員

JABEE 修了者の技術士第二次試験受験状況について報告があった。

(イ) その他

#### ①第146回講演会優秀発表賞の選考について

総務担当からオンライン投票に関する説明と投票依頼があった。

## ◇ 第146回講演会選定課題記者発表報告

発表日時：令和6年9月17日（火）13:00～14:30

発表場所：東京大学農学部キャンパス1号館5番講義室、オンライン（ハイブリッド形式）

出席者：岩田洋佳（幹事長）、津釜大侑（記者発表担当運営委員）、戸田悠介（課題1）、井澤毅（課題2）、新屋智崇（課題3）

参加報道機関：日本農業新聞、化学工業日報、日経新聞、農業共済新聞、時事通信、朝日新聞、NHK 計7社・7名

令和6年9月19日（木）、20日（金）に広島大学で開催される日本育種学会第146回講演会の講演課題（計

212課題）の中から運営委員会によって選定された以下の3題について、記者会見を実施した。

発表タイトル（記者発表）：

(1) 育種による対応策は、将来的なイネ高温不稔の増大をどれほど抑えられるのか

(2) 「咲かないイネ」（フロリゲン遺伝子機能欠損系統）の高バイオマス品種としての利用可能性

(3) ゲノム情報を利用した選抜育種技術「ゲノミックセレクション」で事業用品種を開発～播種からわずか4年9か月で主力事業用品種より生産性に優れる品種を開発～

講演タイトル（第146回講演会）：

(1) 講演番号219「微気象モデルを用いたイネ高温不稔の将来予測と育種による対応策の評価」戸田悠介、石郷岡康史、吉本真由美、西森基貴、滝本貴弘、桑形恒男、長谷川利弘（農研機構農業環境研究部門）

(2) 講演番号519「「咲かないイネ」の農業的な有効利用に向けて」宮崎虹輔、鈴木慎琴、西出典子、橋本舜平、森田隆太郎、青木直大、井澤毅（東大・院農学生命科学）

(3) 講演番号P102「ゲノミックセレクションによるユーカーリ事業用品種の開発」新屋智崇<sup>1</sup>、陶山健一郎<sup>2</sup>、岩田英治<sup>1</sup>、宮内謙史郎<sup>2</sup>、Antonio C. Rosa<sup>2</sup>、Diego Duarte<sup>2</sup>、根岸直希<sup>1</sup>（1. 日本製紙株式会社，研究開発本部，基盤技術研究所，森林資源研究室，2. Amapa Florestal e Celulose S.A. (AMCEL), Forest Research Division, Brazil）

岩田が諸注意を述べた後、それぞれの課題の発表者がレジュメを用いて発表内容について自ら説明し、質疑応答を行った。記者会見後、講演番号219に関する記事が日本農業新聞（9/22）と農業共済新聞（9/25）に、講演番号P102に関する記事が、化学工業日報（9/20）に掲載された。

## ◇ 第146回講演会日本育種学会優秀発表賞報告

2024年日本育種学会秋季大会（第146回講演会）における日本育種学会優秀発表賞が下記の9演題に決定された。

講演番号111：dpMIG-seq法を用いた四倍体ブルーベリーにおける連鎖地図構築

☆長坂京香<sup>1</sup>、西村和紗<sup>1,2</sup>、山形啓悟<sup>1</sup>、西山総一郎<sup>1</sup>、山根久代<sup>1</sup>、中野龍平<sup>1</sup>、中崎鉄也<sup>1,3</sup>（1. 京都大・院農学，2. 岡山大・院環境生命自然，3. 京都大・成長戦略本部）

講演番号121：遺伝可能なイネ葉緑体ゲノム編集（C-to-T塩基置換）

☆中里一星、山田淳子、堤伸浩、有村慎一（東大・院農生）

講演番号201：イネの分げつ形成に関わる tab1 サプレッサー遺伝子の機能解析

☆大山歩弥<sup>1</sup>, 鳥羽大陽<sup>2</sup>, 田中若奈<sup>1</sup> (1. 広島大院統合生命, 2. 宮城大食産業)

**講演番号 205** : イネ科葉原基における細胞成長動態の三次元ライブイメージング解析

☆徳山芳樹<sup>1</sup>, 田口みなみ<sup>2</sup>, Robert Kelly-Bellow<sup>3</sup>, Richard S. Smith<sup>3</sup>, 貴島祐治<sup>4</sup>, 小出陽平<sup>4</sup> (1. 北海道大・院農学, 2. 北海道大・農学部, 3. Department of Computational and System Biology, John Innes Centre, 4. 北海道大・農学研究院)

**講演番号 219** : 微気象モデルを用いたイネ高温不稔の将来予測と育種による対応策の評価

☆戸田悠介, 石郷岡康史, 吉本真由美, 西森基貴, 滝本貴弘, 桑形恒男, 長谷川利弘 (農研機構・農業環境研究部門)

**講演番号 403** : 期待される近交系の能力分布をもとに複数形質を考慮した交配戦略

☆櫻井建吾<sup>1</sup>, Moreau Laurence<sup>2</sup>, Mary-Huard Tristan<sup>2,3</sup>, 岩田洋佳<sup>1</sup>, Charcosset Alain<sup>2</sup> (1. 東大・院農学生命科学, 2. Univ. Paris-Saclay, GQE – Le Moulon, France, 3. Univ. Paris-Saclay, UMR MIA Paris-Saclay, France)

**講演番号 413** : 非破壊酸素イメージング技術により見えてきたオオムギの湿害発生過程における成長と根圏酸化の関連性

☆芝日菜子<sup>1</sup>, 江上泰広<sup>2</sup>, 檀浦正子<sup>3</sup>, 高梨聡<sup>4</sup>, 塩野克宏<sup>1</sup> (1. 福井県大・院生物資源, 2. 愛知工大・工, 3. 京大・院農, 4. 森総研・関西)

**講演番号 505** : イネ栽培種一遠縁野生種間の複二倍交雑体の作出および後代への異質ゲノムの伝達

☆小野里佳<sup>1</sup>, 佐藤豊<sup>2</sup>, 岡本龍史<sup>1</sup> (1. 東京都立大・院生命科学, 2. 遺伝研・ゲノム進化)

**講演番号 P181** : 一細胞解像度 3D 免疫染色によるイネ茎頂メリステムのエピジェネティック修飾解析 II

☆森下友梨香<sup>1</sup>, 高田峻輔<sup>2</sup>, 吉田綾<sup>2</sup>, 肥後あすか<sup>3</sup>, 辻寛之<sup>2,3</sup> (1. 名大院・生命農学, 2. 横浜市大・木原生物学研究所, 3. 名大・生物機能開発利用研究センター)

## 研究助成公募等の案内

### ◇ 公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団 2025 年度研究助成公募のお知らせ

#### 2025 年度研究助成対象者募集要領

本財団は、農学、特に農芸化学（生物資源等）に関する学術研究を助成し、もって学術研究の発展に寄与することを目的とし、設立されました。

本年度も、農芸化学等に関する研究を行っている大学等の研究機関の研究者に対し研究助成をします。特に、若手研究者への助成の枠を設け、今後の当該分野の研究促進に役立ちたいと考えています。

1. 研究分野：(1) 豆類や穀類の生産技術（栽培、育種、植物栄養、根圏微生物等）に関する研究、(2) 豆類や穀類、並びにそれらの加工品の食品機能（栄養機能、嗜好機能、生体調節機能等）に関する研究、(3) 豆類や穀類の加工、保蔵、流通技術に関する研究、並びにそれらの発酵に関連する微生物や酵素の探索、特性、利用に関する研究

2. 研究助成対象者：(1) 国内の大学、短大の研究者（大学院生も含む）、(2) 国公立並びに国立研究開発法人等の研究機関の研究者、(3) その他本財団の理事会において適当と認められた研究者

3. 交付要件：(1) 研究内容については、創造的、先進的であり、その研究の成果が広く学術研究等に資することが期待できること。(2) 助成金の交付により著しく研究の成果が得られるものであること。(3) 助成金を必要とする研究の計画と費用に合理性があること。(4) 研究の成果は、1. 本財団の事業として公表すること、2. 所属する学会で発表すること、3. 本財団が発行する研究成果報告書又は本財団主催の研究報告会で発表すること。(5) 本財団所定の用紙による申請であること。申請書には助成を希望する研究課題、目的、計画・手法、所要経費等必要事項が明示されていること。

4. 助成金額：(1) 一般部門（年齢制限なし）1件当たり 100 万円を 7 件程度、(2) 若手部門（40 歳未満）1 件当たり 50 万円を 6 件程度 ※若手部門は、1985 年（昭和 60 年）4 月 1 日以降生まれの方

5. 助成期間：助成期間は 1 年とします。（2025 年 5 月～2026 年 4 月）

6. 申請手続き及び締切期日：財団所定の申請書に必要事項を記入の上、2025 年 1 月 15 日から 3 月 10 日（必着）までに財団理事長宛てに郵送してください。尚、申請書用紙は、以下の URL（<https://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/subsidy.html>。問い合わせ先」からダウンロードできます。

7. 交付時期：2025 年 5 月予定

8. 〒311-3411 茨城県小美玉市野田 1542 番地 公益財団法人 タカノ農芸化学研究助成財団 理事長 高野 成徳  
9. その他：同一研究課題で、他の団体等へ応募され、かつ、本年度重複助成となられた場合には、助成をできない場合がありますのでご注意ください。

・過去助成研究テーマ検索 <http://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/>

10. 問い合わせ先：タカノフーズ（株）内 財団事務局, TEL: 0299-58-4363, FAX: 0299-58-3847, E-mail: tazaidan@takanofoods.co.jp

#### 日本育種学会会員異動 (2024.4.21～2024.10.20)

◇普通会員入会：丸山隼人, 坂口俊太郎 (北海道), 季傑 (宮城県), 鄭美嘉, 植田佳明, 大武美樹, 勝山弘章,

浅井英利（茨城県），八田大成，新屋智崇，高見澤敦（東京都），天野夏帆（新潟県），田丸翔太郎（福井県），望月達史，川木純平（静岡県），浅水恵理香（滋賀県），長坂京香，木下有羽，宮田暉大（京都府），元木航（岡山県），秦東，杉田知彦（広島県），木下晃彦（熊本県），寺島義文（沖縄県）

◇**学生会員入会**：廣木幸太郎，前田秀亮，廿日出真衣，大石海苑，宜保華香，蒲池行美，山田郁絵，三浦誠一朗（北海道），佐藤玲央（岩手県），小林碧尊，山口万優子，粥川颯人（宮城県），鴻巣遙香，萩原周平（茨城県），木村陽香，田中歩（栃木県），渡邊菜々海，佐藤千都，釘田歳之（千葉県），宮崎虹輔，玉谷京輔，陳彤昕，清水梨緒，安西瑠璃，WONGLA WONGSAKORN，近藤直弥，横内望美（東京都），武田良太，櫻井涉敬，本田和芳（神奈川県），佐藤淳，岡朋樹（新潟県），吉住允秀，酒本未希，町優花，宮木海征（石川県），芝日菜子（福井県），川島航（長野県），伊里友希，宍戸恵，實井真愛，鈴木陸司，水嶋滯，陰山まほ，NI NI MIN THU（愛知県），木南綾子（滋賀県），臼本桜，野村大翼（京都府），

矢野秀汰，柿木将太，寺田晴香，藪功将，木村有喜，後迫萌々花，國田康平（兵庫県），水谷円（奈良県），白土寛子，田村朋子，梅井明日香，岩本美沙（岡山県），牧原奈穂，大山歩弥，西野宗一郎，相森颯馬，水岸航太郎，新谷光雄，米澤奏良（広島県），日名弘貴（山口県），古川成雪，三木葵葉（愛媛県），浅野皓晶（熊本県），瀬戸口優乃（宮城県）

## 住所変更等

◇**普通会员**：木原誠（北海道），大橋ほなみ（青森県），若生忠幸（岩手県），桑原康介（宮城県），山口誠之，南條洋平（秋田県），田部井豊，根角博久，上床修弘，鐘々江弘美，栗原未結，千装公樹（茨城県），西川みなみ（栃木県），津田麻衣，津田直人，梅原三貴久（埼玉県），加星光子（千葉県），浅野賢治（東京都），上向井美佐（新潟県），松永啓（三重県），爲重才覚，近藤文哉（京都府），沼口孝司（兵庫県），高橋宙之，吉岡資洋（広島県）